

寮の友達と私
—いつもそばに伴う人たち—

(グループJ) 全秀蓮

1. 紹介文

私にとって大切なコミュニティはいろいろあります。その中で、私にとって、一番重要なコミュニティは大学の寮で一緒に住んでいたルームンメイトです。なぜかという、こんな人たちは全部自分の特徴かあります。

全部8人の寮では、とてにぎやかでした。毎日の朝から夜まで、私たちはいつも一緒にいて、勉強をしたり、ご飯を食べたり、遊んだりして、とても楽しくて過ごしました。林さんは、とても可愛い人です、身長は高くなくて、痩せる人です、いつも寮でいて、小説を読みます。たまに、授業もさぼって、小説を読みます。でも、彼女はあまり勉強をしなくても、成績がいいです。一生懸命頑張っている学生より成績がいいです。呂さんは、とてもきれいな彼女だと思います。非常に成熟な人だが、怠惰な人だとも言えます。いつも脱いた服をたくさん集まって、最後全部洗濯します。闫さん、男っぽい女の子です。声も大きくて、動作も早いです。なにもしても、きれいに細かくて、早速終わることが出来ます。周さんは、とても優しい人です。困ったことがあったら、いつも聞いてくれて、方法を考えさせてくれます。いつも、おいしいものがあれば、わたしにくれます。庄さんは私と一緒に日本へきたのです。なかよくいいです。お互いに助けて日本に生活しています。でも、その中で、私にとって一番重要な人は何さんです。わたしと非常に仲良くいいです。毎日、一緒に学校へ行って、食べて、図書館に行って、話して、ずっと私のそばにいて伴ってくれました。私が日本へ来たとき、彼女は泣いていました。

私にとって、彼らは私の生命で消えない人たちです。家では両親を頼ったが、社会に歩くいってば友達が重要です。何か困ったことがあれば、助けてくれるのは友達。大学のルームメイトと一緒にいったとき、とても楽しい、今も帰りたいんです、帰って、雪が来るとき、雪玉を遊びたいです。いつでも、どこにいても、決して忘られない友達です。

2. 取材散歩に行ってみて

この二週間、角田さんと佐藤さんは私と金素希さんをつれて、自分が入ったコミュニティに連れてみました。角田さんは吹奏楽団のコミュニティでした。演奏室に行ってみました。演奏室の中で、たくさん楽器が並んでいます。ここは日本の大学生の毎日楽器を練習するの場所だなあと感嘆しました。あと、私たち四人、食堂へ行きました。そこで座って、お互いに写真を見てあげました。佐藤さんのコミュニティの人はサッカーチームの人です。でも、あれはカッコいいの彼女です。写真の中で、サッカーチームの人たちは同じ服、動作、ボールを持って撮った写真です。そのあと、私中国友たちと金さん韓国の友達の写真も見た。金さんの友達はとてもきれいな人です、絶対に韓国のスタイルです。最後、一緒に四人の写真撮った、日本人若者の生活を感心しまして、嬉しかったです。

3. 話し合い相手 (何欣さん)

大学一年生時、寮に入ったばかり、何欣さんは私の目に入りました。彼女は言うことが上手です。お互いに知らないが、とても親切で、いい気持ちになりました。裁

縫も貸してくれて、テップもかしてくれました。そのあと、わたしは何欣さんという友達になりました。毎日、一緒に起きて、でも、わたしはいつも朝起きたくないが、彼らはいつも私を呼びます。「全さん、起きろ、遅刻するよ。また寝るとお前を捨てて行くよ」っていつもいつも私が聞こえます。誰がまず準備して終わったら、相手を待ちます。もし遅くなっても、怒らなくて、心から「次回、きっと早くて相手と呼ぶ」って決まります。そして、一緒に朝ごはんを食べて、一緒に学校へいきます。いつでも、二人の影が見えます。夜になったる、図書館にいて、一緒に勉強します。毎日文章を暗唱して、単語を覚えて、とても遅くまで勉強していました。そのところは大変難しいけど、いま繰り返してみると、とても懐かしいです。食堂で料理を食べるとき、一緒に食べて、お菓子とかも、お互いに渡して食べます。夏でも傘を一緒に持って、冬でも相手のポケットに手を入れて、「お前の足、取っていく！」って楽しくてずっと一緒でした。何欣さんというもするのはショッピングでした。授業が空いたとき、用事がなければ、一緒にショッピングしました。中央紅スーパーに行くと、麻辣串を食べて、うれしかったでした。日本に行ったときも、相手をととても惜しみました。

いつでも私のそばに行って、ずっと伴っていた人です。どこにいても、どんなに遠くても、私たちは永遠良い友達です。

4. 話し合い結果

次日、私はこんな話をかしんさんに伝えました。私が書くのを見たあと、涙が出たと言いました。とても感動して、嬉しかったと言いました。このコミュニティは彼女にとっても重要です、いつも遊んで、勉強して、こんな記憶はきっと永遠覚えますだと言ってくれました。私が日本によく生活して、友達も作って、日本に生活を早くなれますよって言ってくれました。そして、私が帰国までにずっと待っていますと言ってくれました。

5. 寮の友達と私

こんな友達はいつも私と一緒にいました。まいにち、同じ部屋に住んで、広さは狭いですが、部屋のなかの笑いは絶えなかったです。誰かが誕生になったら、一緒にレストランに行って、美味しい食べ物を食べます。そして、KTV という歌を歌うところに行って、遊びます。遅くまで歌って、寮に帰ります。今、みんな大学生三年生ですから、遊ぶばかりじゃなくて、仕事を探したし、自分の道も選ぶところです、でも、友情は変わらないと思います。これから、みんなどこに行っても、連絡はきっと続いています。仕事をすると、みんなの会う時間は少ないとおもいますが、もし会いたいとき、みんなきっと同じところに集まって、自分の仕事とか恋愛とか、相手に教えて行きたいと思います。このコミュニティはわたしにだけ重要じゃなく、このコミュニティのメンバーもそう思うんだと思います。30歳になったら、お互いに主人と赤ちゃんを見せて、40歳になったら、全部集まって、この20年間どうやって生活しているかを話して、50歳になったら、笑うだけでも心に感動が出来ると思います。だから、友情は一方的じゃなくて、お互いに心がつながって続けるのは重要だと思います。私はこの友情を守りたいんです。いつでも、どこでも、このコミュニティを忘れ

ずに行きたいんです。これは私の考え方ですが、みんなもそう思うんだと信じます。

6. 「コミュニティ」「コミュニケーション」とは何か

「コミュニティ」は一人一人が力を合わせて一緒に守って行くものです。最初からお互いに了解して、離れなくなって、相手を大切にしようになります。日本に行って、コミュニティの本質をほんとに理解しました。中国にいる時、毎日一緒にいることが慣れましたが、日本に来たら、寂しくなって、毎日ひとりで、友達の友情はとても恥ずかしくなりました。こんな親しい関係があるグループはコミュニティだと思います。「コミュニケーション」はコミュニティを守るためにしなければならないことです。この交流を通して、お互いの関係が親しくなるのだと思います。

7. クラスについての感想

このクラスについて、日本人と交流することができて、まことにありがとうございました。いい記憶もできました。そして、授業の内容によって、私のコミュニティをもっと大切に作る気持ちが強くなりました。ひとりの時、いつも彼女たちを懐かしいです。これは私が守らなければならないものだと思います。